

# 児童養護施設職員のニーズと職務継続意思に関する研究

Text Mining Studio2.2.1によるテキストマイニング

○八城真里

伊藤武彦

井上孝代

(国立国際医療センター戸山病院小児科)

(和光大学現代人間学部)

(明治学院大学心理学部)

キーワード：児童養護施設，職務継続意思，テキストマイニング

**問題** 近年，被虐待児の入所の増加もあり，児童養護施設（以下；施設）の入所率が増加し（保坂，2004），処遇の困難なケースが多くなっている。そのため，関わる職員のより高い専門性が求められている一方，職員の身体的・精神的負担が加速化し，施設職員が離職にいたるケースも多く，職場定着率の低さや職員の入れ替わりの激しさが危惧されている（岡本，2000 他）。八城（2008）は，現場で働く施設職員を対象として，職務継続意思に影響をおよぼす諸要因に関する研究として質問紙調査を行なっている。この質問紙調査は，公開されている児童養護施設リストに基づき，全国 557 施設に往復はがきにて調査協力依頼をし，協力許可を得られた施設の職員 1313 人に配布され，1024 人（78%）の回答を得ている。

**目的** 本研究の目的は，八城（2008）が行なった質問紙調査の自由記述を詳細に分析することにより，施設職員が現状をさらに良くしていくためにどのようなニーズを持っているのか，援助者を長く続けたいと思っている職員とそうではない職員とではどのような特徴があるのかについてテキストマイニングの手法を用いて明らかにすることである。

**方法** 本研究の分析データは，八城（2008）が行なった質問紙調査で回収した 1024 人の質問紙の自由記述部分に回答があった 826 人（81%）のデータを使用した。サンプルの構成は，性別では，男性 274 人（33%），女性 552 人（67%），職務継続意思別では，高群（10 点以上）413 名（50%），低群（9 点以下）405 名（50%）であった。なお，教示文は，「あなたは児童養護施設の現状をさらに良くしていくためには何が必要だと思いますか？」となっている。質問紙調査自体は 2007 年 9 月～10 月に実施されたものである。

**結果 1) データ全体の構造と特徴について**；話題分析により，データ全体の構造や特徴を分析した結果，13 のクラスタに分けられた。各クラスタ間の距離を主観的に与え，PAC 分析の手法を用いてクラスタの配置を行ない，空間的に整理し，図 1 の結果を得た。

**2) 職務継続意思得点別解析**；高群では，①職場内の人間関係に関して述べていることは，②子どもと関わる余裕や時間に述べていることは，③施設を理解を求めることについて述べていることは，④職員の増員の必要性を述べていること

ばとなっている。一方，低群では，法制度を含む施設自体の抜本的改革を求めるものや労働環境や条件についてのべているものが多かった。また，子どもと関わることへ難しさを感じていると思われることばも多くあげられていた。

**考察 1) 支援向上に関するニーズの全体的特徴**；多くの施設職員が，職員配置の見直しが必要だと述べている。この背景には，被虐待児などより手厚い支援の必要な子どもの増加や支援ニーズの多様性が挙げられている。また職員の手の足りなさからくる子どもとの十分な関わりが持てないという現状があり，よりきめ細かい支援を行うためには施設の小規模化が求められている。また，給与の安さから一生の仕事として働けないという状況が明らかになり，安心して働ける給与も求められている。

**2) 職務継続意思別の特徴**；職務継続意思が強い群と弱い群では，子どもとの関係の築きの部分で差が出ているようである。また，職場の雰囲気やチームワークが職務継続意思に影響を与えていることが明らかとなり，コミュニティ感覚を高めることが職務継続意思を強めるといえる。これまでも現場の職員が，法制度の見直しによる職員数の増加，安心して働ける給与等の労働条件の改善，職員同士や他機関や他職種との良い連携やチームワークの必要性を感じているということは指摘されていたことではあるが，本研究はデータに基づきそのことを裏付けることができた。

**今後の課題** 本研究で行ったようなテキストマイニングは，自由記述回答という質的データを量的に裏付ける有効な方法であり，このような方法論的吟味も今後の課題である。

**【主な引用文献】**

八城真里・井上孝代・伊藤武彦 2008 児童養護施設職員の職務継続意思に及ぼす影響要因に関する研究：物理的・環境的要因及び心理的要因（バーンアウト・二次的外傷性ストレス・共感満足）に注目して 日本コミュニティ心理学会第 11 回大会発表論文集，138-139.

Creswell, J.W. 2003 Research Design; Qualitative, quantitative, and mixed methods approaches (2nd ed.) Sage 操華子・森岡崇（訳）2007 研究デザイン；質的・量的・そしてミックス法 日本看護協会出版会

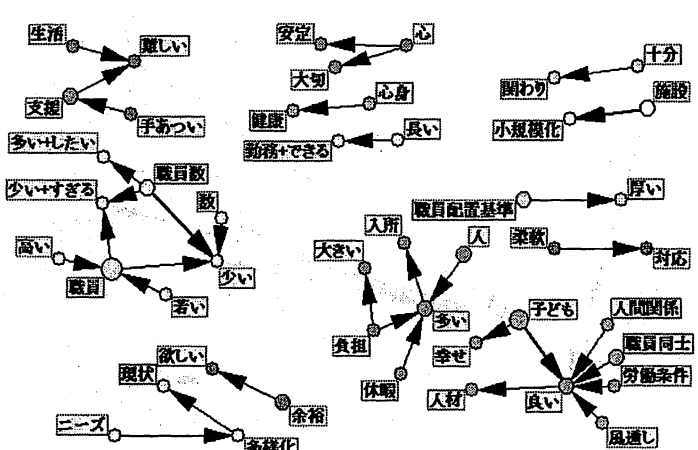


図 1. 児童養護施設職員のニーズ（ことばのネットワーク図）